

| | | | | |
|------|--------|------------|---|-----|
| 科目名称 | 食生活と栄養 | 学年学期 | 単位数 | 時間数 |
| | | 1 学年前期 | | 35 |
| 担当教員 | 植田 真知 | 授業に関わる実務経験 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 (管理栄養士) <input type="checkbox"/> 無 | |

【1】 授業概要

我が国の食生活の現状、栄養の種類やはたらき、ライフステージ別の健康な食生活のあり方を踏まえ、栄養食事療法の実際と食生活・栄養における看護の役割について学習する。

【2】 学習目標

1. 生体にとって必要な栄養素の種類・はたらきについて理解する。
2. 各栄養素の消化・吸収・代謝について理解する。
3. 「日本人の食事摂取基準」の考え方や各疾患における食事療法の原則と実際について学習し、看護における食事の重要性について理解を深める。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
 - 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
 - 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
 - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
 - 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
 - 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
 - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

| | 内容 | 主な授業形態 |
|----|------------|--------|
| 1 | 食生活について | 講義 |
| 2 | 食生活について | 講義 |
| 3 | 食事摂取基準 | 講義 |
| 4 | 食事摂取基準 | 講義 |
| 5 | 第1章・第2章まとめ | 講義 |
| 6 | 栄養素とその代謝 | 講義 |
| 7 | 栄養素とその代謝 | 講義 |
| 8 | 病院食 | 講義 |
| 9 | 病院食 | 講義 |
| 10 | 第3・第4章まとめ | 講義 |
| 11 | 食事療法 | 講義 |
| 12 | 食事療法 | 講義 |
| 13 | 食事療法 | 講義 |
| 14 | 食事療法 | 講義 |
| 15 | 食事療法 | 講義 |
| 16 | 特殊栄養法 | 講義 |
| 17 | 第5章・第6章まとめ | 講義 |
| 18 | 筆記試験(45分間) | |

【5】 評価方法

筆記試験

【6】 教科書

勝川 史憲他著 看護学入門2 栄養 第7版 メヂカルフレンド社 2025年

【7】 参考書

【8】 受講生へのメッセージ